

令和5年度中小企業組合等課題対応支援事業
(中小企業組合等活路開拓事業)
ワーキング委員会D(第1回)

——【ワーキング委員会D_会議資料】

テーマ 『次世代自動車に対応した整備体制の構築』

- ①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について
- ②アンケート結果の報告
- ③専門家委員からのヒアリング
(アンケート結果の感想、現状認識、テーマ実現に向けた提言など)
- ④テーマ実現に向けたアクションプランの検討
- ⑤第2回ワーキング委員会Dの開催について

①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

事業テーマ

「日車協連SDGs宣言」を通じ、持続可能な車社会を支える業界団体を目指す



①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

事業目的および概要

自動車車体整備を通じて社会的要請に応え、持続可能な車社会の実現に寄与することを目的に、次の4つのミッションを掲げて取り組む。

- 1.交換から修理の推進による廃棄量の低減
- 2.廃棄物のリサイクルを推進
- 3.各種法令を遵守した地球環境・労働者に優しい事業
- 4.次世代自動車に対応した整備体制の構築

①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

目指すべき姿

私たちは、現代社会において地域の足、生活の足として不可欠な自動車を長く、安全・安心に整備するという社会的役割を担っている。

本連合会がSDGs宣言することで車体整備業界の社会的地位向上を推進するとともに、関係各所と良好なパートナーシップを築き、料金問題や人材不足など課題解決を図る。

①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

目指すべき姿

私たちは、現代社会において地域の足、生活の足として不可欠な自動車を長く、安全・安心に整備するという社会的役割を担っている。

本連合会がSDGs宣言することで車体整備業界の社会的地位向上を推進するとともに、関係各所と良好なパートナーシップを築き、料金問題や人材不足など課題解決を図る。

①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

ワーキング委員会A

テーマ：「交換から修理の推進による廃棄量の低減」

内容：テーマに基づき、廃棄量の低減につながる有効な修理技法を有識者とともに検討し、推進案を作成する

参加委員：日本技能研修機構、日本自動車車体補修協会

ワーキング委員会B

テーマ：「廃棄物のリサイクルの推進」

内容：テーマに基づき、自動車リサイクル法の適正運用とリサイクルパーツの利用促進につながる有効な手段を有識者とともに検討し、推進案を作成する

参加委員：日本自動車リサイクル部品協議会加盟3グループ

①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

ワーキング委員会C

テーマ：「各種法令を遵守した地球環境・労働者に優しい事業」

内容：テーマに基づき、水性塗料ならびに特化則非該当製品の普及促進につながる有効な手段を有識者とともに検討し、推進案を作成する

参加委員：日車協連賛助会員である自動車補修塗料メーカー6社

ワーキング委員会D

テーマ：「次世代自動車に対応した整備体制の構築」

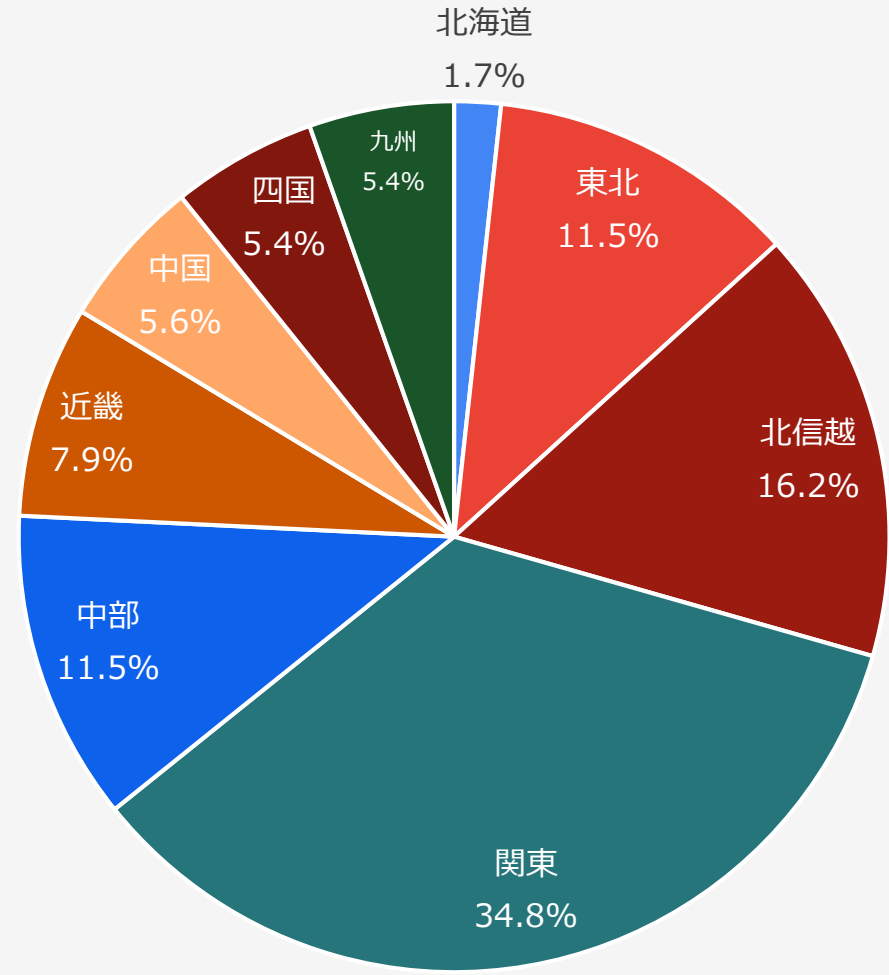
内容：テーマに基づき、ASVの整備情報ならびにEV等の整備体制の構築など次世代自動車の整備体制を有識者とともに検討し、推進案を作成する

参加委員：钣金塗装作業を内製するメーカー系ディーラーおよび関連会社3社

②アンケート結果の報告

調査期間：令和5年10月2日～10月16日
 対象：日車協連組合員
 有効回答数：520件

地域別回答数の内訳



↑↑↑ FAX 06-6227-5606 ↑↑↑
 (裏面の送信も忘れずに)

「日車協連 SDGs 宣言」作成に伴うアンケート調査

日車協連では今年、中小企業総合振興財団支店事務局(中小企業総合振興財団)の協力を得て、「日車協連SDGs宣言」の作成を進めています。
 「交換から修理の推進による廃棄物の削減」「廃棄物のリサイクルを推進」「各種法令を遵守した地球環境・労働者に優しい事業」「次世代自動車に対応した整備体制の構築」の4つのミッションを掲げて本報告書に取り組み、SDGs宣言を作成するに当たり、車体整備業界の現状把握を目的としたアンケート調査を実施しています。
 つぎましては、本報告書をよく読み、報告書に記入してください。または数字等を記入して、FAX 送信くださいますようお願いいたします。スマートフォンまたはタブレットでの回答も受け付けています。右記QRコードを読み取り、ご回答ください。
 調査期間は10月16日(月)までです。アンケートにご協力くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

スマートフォンの場合は、このQRコードを読み取り、ご回答ください。

所属する組織

事業所名	TEL

Q1 所有する工場設備は？ [複数回答可]
 分解整備機、電子制御診断整備機、特定整備機(分解+電子)、診断機、診断台、部分専門機、先端安全自動車対応、優良車体整備機、自動車車体整備機、優良自動車整備機、自動車リサイクル施設整備機、フロン回収設備機

Q2 所有する個人資格は？ [複数回答可] また分かる範囲で得意な資格を記入してください
 車体整備士(人)、1級整備士(人)、2級整備士(人)、3級整備士(人)、特定整備作業主任者(人)、自動車検査員(人)、企業技術士(級)(人)、打込み企業技術士(級)(人)、電気工事士(電気種別)特別教育(人)

Q3 月間の新車販売高に占める部品代のおよそ割合は？
(※:新車部品代は約550万円、新車販売高は約1,000万円～55万円)
 部品代の割合▶ %

Q4 部品代に対して何%の修理工費がもたらえるならば、交換ではなく修理を選択しますか？
(※:部品代が10万円、5万円の場合はそれぞれ20%と50%の割合で回答は50%)
 修理する割合▶ %

Q5 ヘッドライトステーの取付け難易度は？
 0~10% (はたAsya等)、11~49% (Asya等)、50~89% (修理する割合が多い)、90~100% (はたAsya等)

Q6 ヘッドライトステーの補正部品がある場合、レンズのみを交換する割合は？
 0~10% (はたAsya等)、11~49% (Asya等)、50~89% (修理する割合が多い)、90~100% (はたAsya等)

裏面へつづく

↑↑↑ FAX 06-6227-5606 ↑↑↑
 (表裏の送信も忘れずに)

Q7 月間の産業廃棄物処理費用はいくらですか？ また、ここ数年の上昇割合は？
(※:3万円が3万円増の場合は15%)
 処理費用▶ 万円
 ここ数年の上昇割合▶ %

Q8 取引する産業廃棄物処理業者の数は？ また、マニフェストの交付について該当する回答に○を付けてください
 取引社数▶ 社
 マニフェストの交付▶ 毎回交付している、一部交付している、交付していない

Q9 取引するリサイクルパーツ販売業者の数は？ また、月間の部品仕入れ高に占めるリサイクルパーツの割合は？
(※:月間リサイクルパーツ仕入れ高50万円、月間部品仕入れ高500万円~10%)
 取引社数▶ 社
 リサイクルパーツ使用割合▶ %

Q10 主に使用している塗料の種類は？ [未分かる範囲で、]内にメーカー名とブランド名を記入してください。
 ベースコート▶ 剤系、水溶性、
 クリヤー▶ 剤系、水溶性、
 プラフ▶ 溶剤系、水性、
 PA▶ ステレン系、ステレンフリー、UV(光硬化型)

Q11 入庫台数に占めるエイミング作業が必要な車両とEV(PHEV含む)の割合は？
 エイミング作業が必要な車両▶ 0%、1~19%、20~39%、40~59%、60~79%、80~99%、100%
 EV (P H E V 含む) ▶ 0%、1~19%、20~39%、40~59%、60~79%、80~99%、100%

Q12 エイミング作業はどのように対応していますか？
 すべて外注、半分以上を外注、外注と内製が半々、半分以上が内製、すべて内製

Q13 エイミング作業はどこに外注していますか？ [複数回答可]
 フィーラー、整備工場、同業者(新車塗装工場)、中古車販売店、カー用品店、販売会社、ガラス施工業者、電気整備業者、エイミング専門店

Q14 エイミング作業を外注した際の平均的な納期(依頼~納品までの期間)は何日ですか？
 平均▶ 日

Q15 ASVを整備するための情報はどこから入手していますか？ [複数回答可]
 FAINES、ディーラー、整備工場、同業者(新車塗装工場)、機械工具店、塗料販売店、業界団体(車検など)、新聞・雑誌(BSRなど)、SNS(Facebookなど)、動画サイト(YouTubeなど)

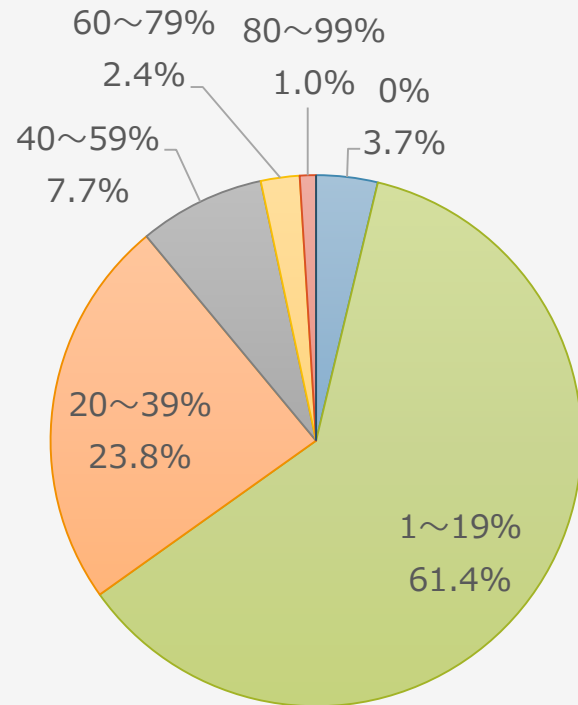
Q16 日車協連の活動に対する意見や要望などがございましたら記入ください
 []

ご回答いただき、誠にありがとうございます。
 今後とも、日車協連の運営にご理解、ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

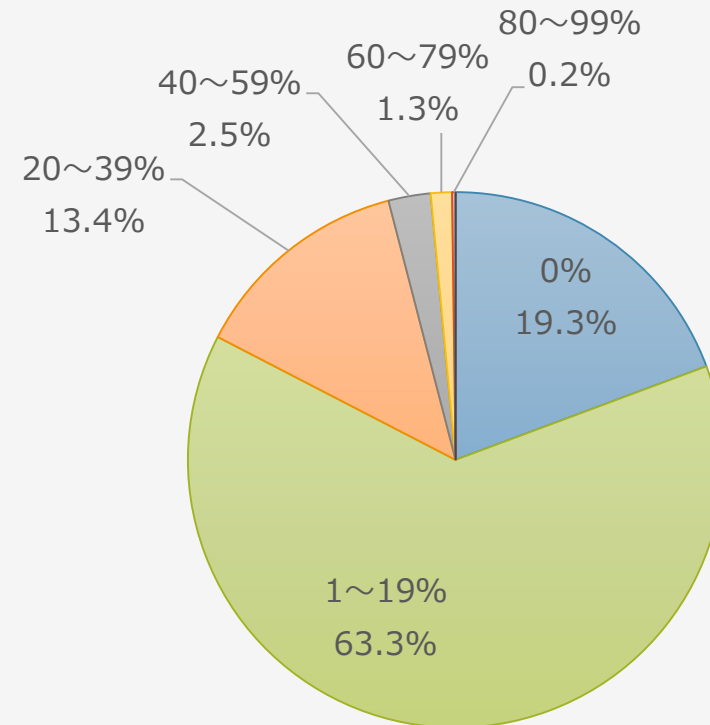
※アンケートは、各SDGsや中小企業総合振興財団支店事務局(中小企業総合振興財団)の協力を得て作成しています。

②アンケート結果の報告

入庫台数に占めるエイミング作業が必要な車両の割合は？



入庫台数に占めるEV（PHEV含む）の割合は？

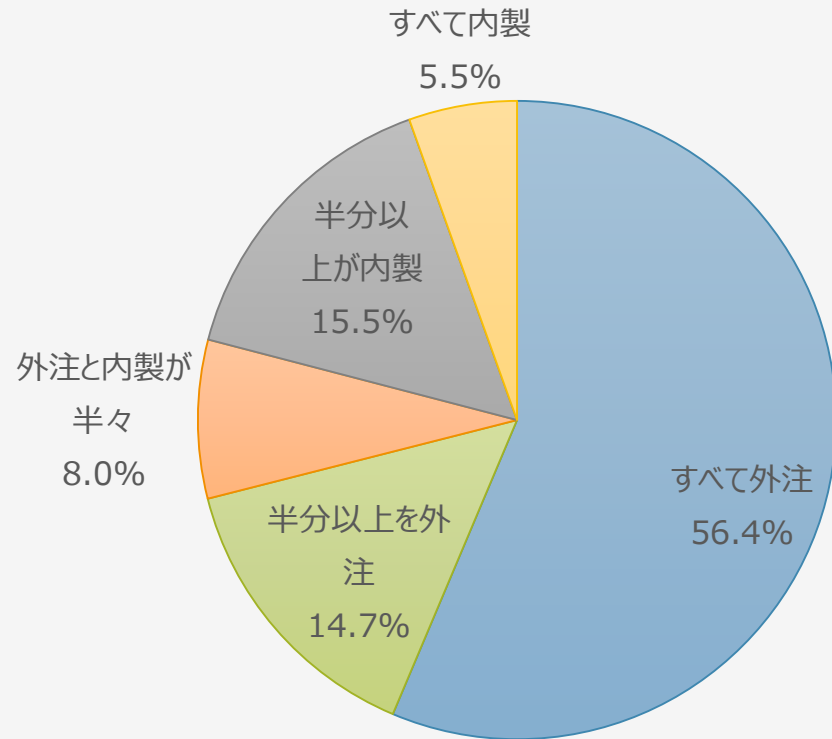


入庫台数に占めるエイミング作業が必要な車両の割合では、1~19%がもっとも回答数を集め、およそ10台に1台の割合で入庫していることが分かった。

入庫台数に占めるEV・PHEVの割合も、1~19%がもっとも回答数を集めた。ただし、エイミング作業と違う点は、0%と回答した割合が高く、やはり市場に流通する数が少ないことがこの結果からも読み取れる。

②アンケート結果の報告

エイミング作業はどのように対応していますか？



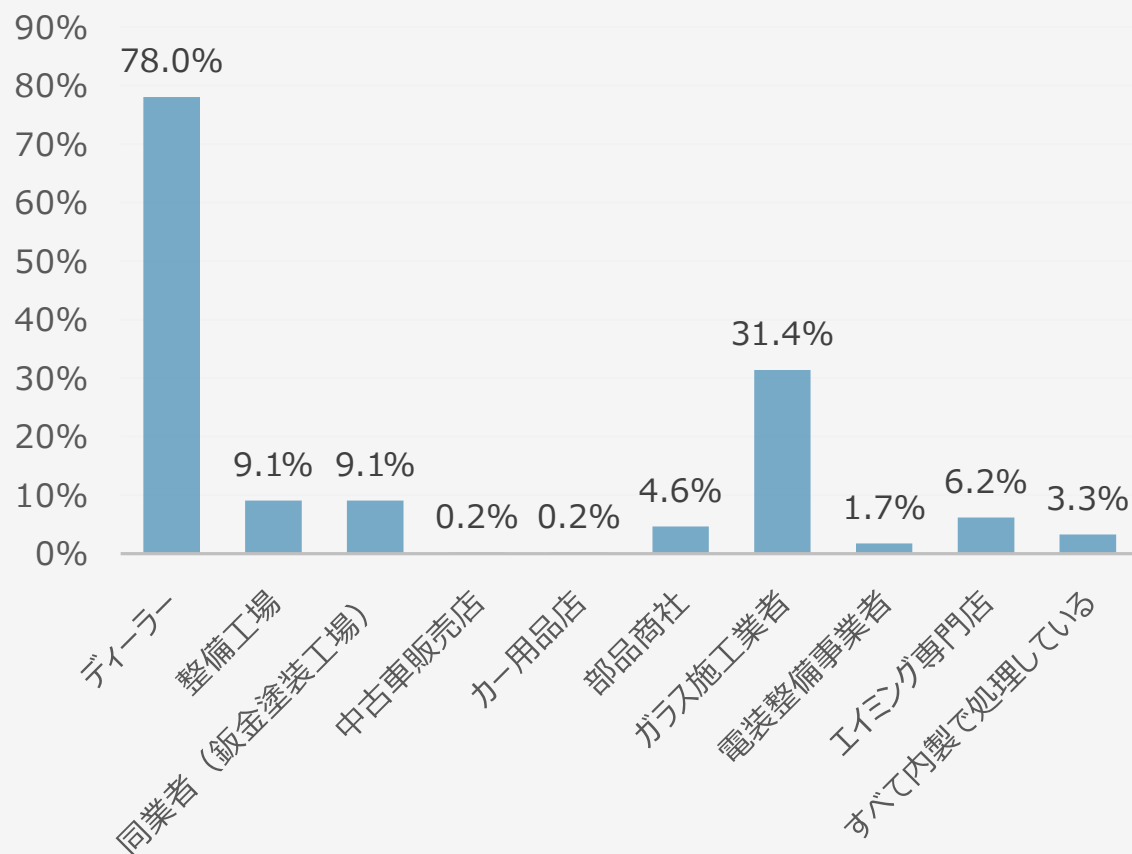
すべて外注がもっとも多く56.4%で、半数以上が外注で対応していることが分かった。半分以上が内製が15.5%で、半分以上を外注の14.7%を上回った。また、すべて内製の割合は5.5%だった。

現状、エイミング作業が10台に1台の割合でしか発生していないが、これが2割、3割と作業台数が増えてきた時の外注・内製の判断が難しくなると予想される。

②アンケート結果の報告

エイミング作業はどこに外注していますか？

【複数回答可】



エイミング作業を外注した際の平均的な納期は何日ですか？
(依頼～持込～納車までの期間)

全国平均

2.98 日

外注先がディーラーのみの場合の平均

3.14 日

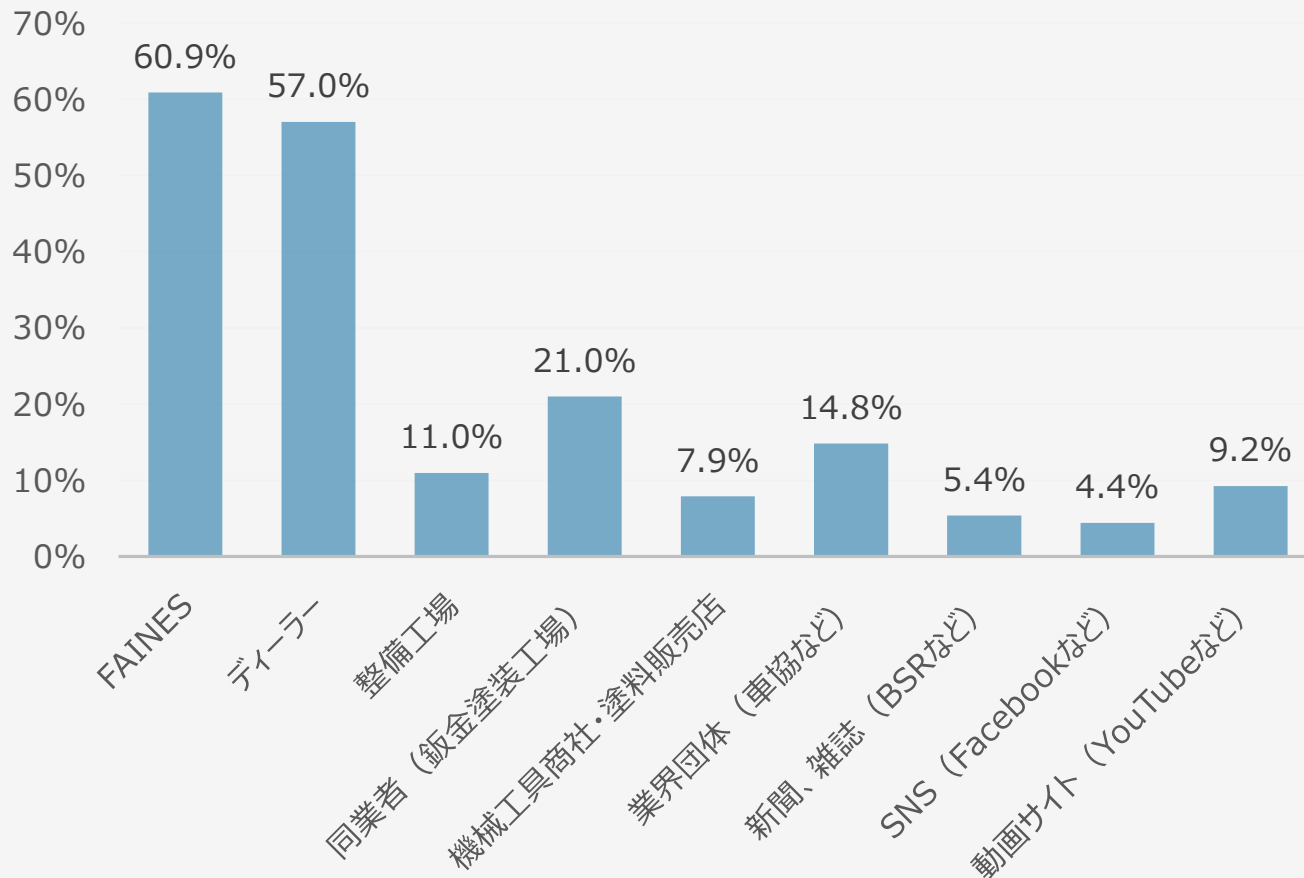
ディーラーが78.0%、ガラス施工業者が31.4%で、外注先のほとんどがこの2つに絞られ、ケースバイケースで使い分けられていることが窺えた。

依頼から持ち込み、納車までのリードタイムを尋ねた結果、平均2.98日だった。しかし、一部回答には1週間以上の回答もあり、地域性などによって大きく異なるようだ。また今後、ASVの台数が増えた際、ディーラーの対応いかんによっては、内製を進める必要が出てくるだろう。

②アンケート結果の報告

ASVを整備するための情報はどこから入手していますか？

【複数回答可】



ASVの整備情報の入手先は、FAINESが60.9%、ディーラーが57.0%が半数を占め、同業者（钣金塗装工場）が21.0%、業界団体（車協など）が14.8%で続いた。この先、カーメーカーの修理書に示された整備作業、修理作業が前提となるが、その情報がFAINESとディーラーに集約されていく可能性が高い。先を見据えて、メーカーおよびディーラーと関係性を築いていく必要がある。

③ 専門家委員からのヒアリング

- エイミング作業が必要な車両およびEV（PHEV含む）の入庫状況に関するアンケート結果について
- 専門家からのエイミング作業の依頼についての現状
- 今後、エイミング作業が必要な車両の普及に伴い、専門家がディーラーに作業依頼した場合のリードタイムに変化はあるか？
- どのようにカーメーカーからASVの整備情報が発信されているのか？また、その情報を公開できる範囲はどこまでか？
- 今後の専門家との協業体制について（お話できる範囲で）
- 指数対応単価における情報交換



テーマ実現に向けた具体的なアクションプランへの落とし込み